

アメリカ・フードドライブボランティア活動

アメリカの人たちの懐の深さをフードドライブの活動で実感しました。この活動に参加しながら、コミュニティでの助け合いが根付いているアメリカの様子を体験できる貴重なプログラムです。

フードドライブ活動とは？

家庭にある食料(缶詰やレトルト食品などの保存食品)を募り、食料を必要としている女性や子供達、高齢者に寄付をする為の活動としてはじまりました。日本では聞きなれない活動ですが、米国ではとてもポピュラーなチャリティー活動で、既に学校や企業、地域などで定着しており、地元のスーパーや、レストラン等の協力により集まった食料をフードバンクに保管し、ボランティアが配給します。食料を必要としている者があれば、地域で助ける。地域で飢えから救い、食料不安をなくしていく。空腹のままベッドに行く子どもがないようにする。そんな活動です。

食料を受け取る方に負い目はみられません。配給箱に並ぶ人には、生活苦を恥じる気持ちは感じられません。「今余裕があるから助ける」「今余裕がないから助けてもらう」。与える方も与えられる方も、同じ目線で話し、いわば社交場のような雰囲気があります。これがアメリカの懐の深さなのです。



The Blessing Center ではフードドライブ活動以外にも無料の医療、歯科、低所得者の就職支援活動、そして、ホームレスのシェルターなどの機能を持った総合チャリティーセンターを目指して活動しています。



箱の中に、フルーツや野菜、パンなどを入れます、地域から届いた服もここで配給します。



この地域にある Redlands University から大学生がボランティアに来ています。話してみたらみなさん気さくで明るいひとたちばかり。日本から参加したボランティアのみなさんと良い友達になるでしょう。



大きなトラックで運んできた食品を沢山の箱に入れて列を作って待っている人たちに配給します。活動としては、箱を用意したり、トラックからの搬入、箱に食物を分ける、取りに来た人たちの車まで運ぶなど、いろいろあります。



地域の農家からパンプキンが！



10年ぶりにあった、センターの代表の息子さん(左)も頑張ってボランティアしていました。

活動はその日 8:30 分頃集合します。

食物を配り終え、片付けをして、12 時頃には終了します。

ホストファミリー宅で滞在します

このプログラムには blessing center を設立した牧師家族がコーディネーターとなります。

この家族のお母さん(今年 85 歳)は過去実に 30 年間日本や、海外からのゲストをアメリカに受け入れる活動をおこなっていました。Blessing center での活動をする参加者が滞在するファミリーはこのお母さんが長く続けた海外交流のネットワークを利用させていただきます。



滞在するのに良い環境

レッドランズは LA の空港から車でおよそ 1 時間 30 分程度のところにある、治安の良い人口 68,000 の町です。気候がよく、教育環境も整った町です。



Redlands の市内の様子



ダウンタウンのショッピングストリート



Redlands 博物館 近くには大きなショッピングセンターがあります。



Redlands から LA 空港への途中の景色



LA 市内に近づくと大都会のビルが見えてきます。

サンプルスケジュール

2 週間は 13 泊 14 日となります。

月	火	水	木	金	土	日
				出発・到着	活動	
	活動	活動			活動	
	活動	活動	現地出発	帰国		

活動が無い日を利用して、ディズニーランドやユニバーサルスタジオへの観光、また、近くのショッピングセンターに行くのもアメリカ文化を見るには良いでしょう。

参加時期:参加者の希望に合わせ、現地に交渉します。

プログラム参加費用(1名様から参加可能です)

2 週間(13 泊) 170,000 円

参加費用に含まれる項目

CEC 手配費用

滞在費用(ホームステイ 13 泊 2 食付)

ロサンゼルス国際空港から滞在先までの往復の空港送迎費用

現地コーディネーター(blessing center ボランティアスタッフ)によるサポート

参加費用に含まれないもの

現地までの往復航空券と TAX、燃油サーチャージ等

海外旅行傷害保険加入費用

現地での交通費、昼食代金、観光費用なども含まれません。

申込は CEC の WEB からお願いいたします。



Blessing center 11 月